

# 下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒320-8686  
下野新聞社  
電話 028-625-1111  
郵便振替口座 00180-1-623433  
©下野新聞社2022

## 県議会議長に山形氏 副議長には池田氏内定

県議会の阿部寿一議長と佐藤良副議長は7日の議



池田忠氏



山形修治氏

会運営委員会で辞意を表明した。県議会最大会派のとちぎ自民党議員会からは、後任の議長に山形修治氏(58)＝芳賀郡選挙区、4期、副議長に池田忠氏(66)＝大田原市選挙区、3期＝が立候補する方針で、両氏の次期正副議長就任が事実上、内定した。

も「一身上の都合」とした。自民は8日まで会派内の立候補を受け付けるが、両氏以外に立候補者はいない模様だ。

自民は県議定会数50(欠員6)のうち27議席を占めており、自民が選出した候補者が次期正副議長となる見込み。正副議長選の日程は17日の議会運営委員会で協議される。

(山根茂生)



# 下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社2022



第109代議長に就任した

やまがた しゅうじ  
**山形 修治氏**(58)

## 県議会 正副議長の横顔



第116代副議長に就任した

いけただだし  
**池田 忠氏**(66)

143年の歴史がある県議会で、茂木町出身者として初めて議長に就任した。所信表明で「歴史と伝統に思いを寄せ、公平公正で活気あふれる議会運営に向けて全力で取り組む」と決意を示した。

### 活気ある運営に全力

143年の歴史がある県の充実に努めていく。有生活様式が定着し影響を受けている事業者もある。どこも支援できるかは大きな課題だ」と述べた。自然災害や気候変動への運の醸成に努める考えだ。コロナ禍を機に自宅そば打ちを始めた。「そうは配り歩けないので自分で食べられない。もう食べ飽きた」と苦笑いする。芳賀郡選挙区、4期。(田崎智亮)

県議会では新年度、議員にタブレット端末が配備される。「デジタル化を加速させ、調査研究や政策立案にタブレット端末が配備される。感染再拡大防止と社会経済活動の回復の両立を図る局面に入る。「新たな強靱化の対策もしっかり」

「職責の重さに身の引き締まる思い。二元代表制の一翼を担う立場として、公害リスクの少ない内陸に正公平にやってみよう」。就任記者会見で強調した。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、引き続き「タブレット導入やペーパーレス化が進む。これをフル活用できる議会にし、既成概念にとらわれない議会運営を心掛けた」とした。

### デジタルをフル活用

32年のJA勤務を経て県議に。「信頼され、頼られる議員でありたい」。地域住民の声を聴くことを大切に、その姿勢は当然から変わらないという。息抜きはアユ釣りやドライブ。「アユ釣り解禁の6月が待ち遠しい」と笑顔を見せた。大田原市選挙区、3期。(三谷千春)